

自治連よなご

第66号

発行 米子市自治連合会
(事務局 米子市総合政策部地域振興課内)

令和6年(2024年)10月1日発行

編集 『自治連よなご』編集委員会

米子市自治連合会 令和6年度定例総会開催



5月11日(土) 米子市淀江文化センターを会場に定例総会を開催しました。

表彰や、事業計画等の決定、新年度役員選出などが行われ、今年度のスタートとなりました。

- 表彰状贈呈 (自治会長20年在任) 1名
県地区 みなみ自治会 奥田 登 氏
- 感謝状贈呈 (自治会長10年在任) 18名
啓成地区 糺町2丁目東区自治会 増谷 修一 氏
就将地区 加茂町2丁目自治会 湯浅 清文 氏
就将地区 大工町自治会 山中 一秀 氏

就将地区	目久美町自治会	都田 修史 氏
就将地区	東町自治会	倉敷 卓 氏
住吉地区	上後藤三区自治会	藤原 潔 氏
車尾地区	車尾7区自治会	高野 和男 氏
加茂地区	三柳団地3区自治会	別所 新男 氏
河崎地区	四軒屋自治会	岡田 信行 氏
河崎地区	芝谷自治会	足芝 通秋 氏
福米東地区	上場谷1区自治会	中山 英毅 氏
福米東地区	上場谷4区自治会	上田 康則 氏
福米東地区	前地2区自治会	直江 豊明 氏
崎津地区	崎津5区自治会	松本 俊美 氏
和田地区	和田5区自治会	矢倉 豊 氏
成実地区	新山自治会	脇坂 喜啓 氏
五千石地区	八幡3区自治会	木村 孝 氏
五千石地区	諏訪1区自治会	湯原 博己 氏

常任委員防災研修会報告

米子市自治連合会研修委員長 平井 道彦

7月5日、「避難所運営ゲーム (HUG)を体験しよう!!」と題した防災研修会が市役所で開催されました。

受付を済ませ、各班に分かれて席に着き、自己紹介を行いました。すると「聞く」研修だと思いましたが、研修説明後、読み手を決めて「避難者の情報」や「突発的な事象」などが書かれたカードを読み上げ、他の人はそれを仕分けしていくという、自分たちも実際に「参加する」という普段とは違う研修が始まりました。

読む人は次々と名前とプロフィールを読み上げ、他の人は判断を下してカードを仕分けするという慣れない作業に、初めは戸惑いも

あり作業も遅れ気味でしたが、次第に個人的状況に応じて場所を決定することができました。時間が限られている中で、出されたカードを素早く状況判断して仕分けしていくこと、カードに書かれた方々の状況に応じた場所の提供を考えることを実際に作業しながら確認できたので、今後の防災対策で役立つと思いました。

いざという時に、各地区の自治連合会長さんが地域で先頭に立って活動していく必要が出て来ると思っています。この研修を通して、考えながら物事を進めていく事を学んだので、今後役に立てていきたいと思っています。



魅力いっぱい! 地域活動

プレーパークキャンプ

崎津地区子どもふれあい活動
実行委員会ボランティア 實近 孝子

猛暑の中、7月27日から28日、崎津公民館において「第20回プレーパーク&サマーキャンプ」を子どもふれあい活動実行委員会主催で行いました。

前日夕方から館庭に杭、ベニア板、ブルーシートを使って二面のプールを作ります。一面のプールにはウォータースライダーを設置、脱衣所を用意。テントも張ります。

当日子ども達は班別に悪戦苦闘しながらテントを張りまします。それが終わると一斉にプールへ、見張りのスタッフがついて順序良く人数を区切って入ります。竹での水鉄砲作り、昔の道具を使っての火おこし体験へと好きな所へ向かいます。熱中症予防の為、休憩、水分補給、塩分チャージ、スイカなど促します。

午後3時半から夕食作り、飯盒班とカレー班に分かれて担当します。夕食は外で、カレーは班別で鍋が違い、同じ材料ながら味が違い面白い。夕食後はアイスクリーム作り、自分たちで材料を計り、容器に入れ固定。氷の入った容器に塩を入れ、材料の入った容器をその中へ入れて固定、子どもたちが交代で振り回します。おそろおそろ開ける時の

子どもの緊張した顔、アイスクリームが出来ていて食べる時の嬉しそう顔、それを見る私たちが嬉しい。

その後外へ出て花火、これが又にぎやかで楽しそう。これで就寝。テントの中は暑く寝苦しかった様で来年の課題。翌日は朝食後ウォータースライダーで楽しみましたが、高温の為、早目に切り上げ皆で後片付けです。

参加人数約70名、スタッフ50名で過去最高でした。帰り際子どもが「キャンプ楽しかったよ。来年又来るね」と言ってくれて、この言葉は最高に嬉しい。この言葉があるから長年続けられています。

主催する子どもふれあい活動実行委員会は、公民館、子ども会、小学校、地域住民で構成されています。地域の人の差し入れや、ボランティアに支えられて続いています。さあ来年も頑張ろう!!



「人斬り場物語」

車尾7区自治会長 高野 和男

車尾7区は、車尾地区の西端にあり勝田地区に隣接し、高齢化率は60%を超える少子高齢化の最前線をいく58世帯の小さな自治会です。

この辺りは、ずっと以前は「カンダノハマ」と呼ばれ、関ヶ原の前の尼子・毛利の戦いの中でも二度の合戦があり、現在米子市の公園となっている場所には、池田氏因伯支配家老荒尾氏により「勝田浜刑場」が設けられ、重罪人の処刑場として使われていました。罪人は鞆町の「景山屋（現在駐車場）」前の牢屋から連れてきて処刑されたとあり、途中の博労町で最後の酒が振る舞われたとか、水を飲んだとか言われていますが、その井戸があった場所がうどんの「たかのり」の物置にあります。「鳥取藩史」によると、1841年から1848年までの間に45人が処刑されたとあります。

また、この周辺には、1732年の凶作の折、抗議の意味で実らない稲に火をつけたとして処刑された熊党生まれの義民竹松宗六と、竹島に交易に出かけ、国禁を犯したとして処刑された米子商人の茅野・森氏の供養塔が勝田東遊園地の南側に二基建立されているほか、米川土手のJRの鉄橋北

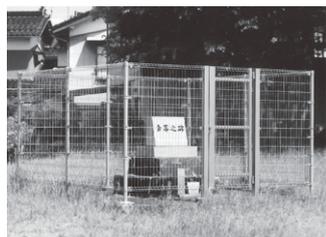
に4m程の高い塔があり、ヒゲ題目の「南無妙法蓮華經」の碑文が刑場の方角を向いています。これも大正の頃までは刑場にあり、1700年に岩倉町にある本教寺の日厳上人の発願で作られた供養塔であることが、石に刻まれています。

その後、刑場跡には明治39年「合葬の碑」が建立され、平成8年に再建されましたが、前の碑は、松江監獄米子分監で明治6年から昭和23年までに獄死した230余人の遺骨を納めた「納骨塔」でした。私も小さい頃は毎日のようにこのあたりで遊んでおりましたが、ここの砂場を掘ると骨片が出土することがあったことを思い出します。

*この物語は、車尾地区前自治連合会長 富士原寿和氏（故人）の「わが町の歴史」を出典としています。



故 梅原宏治氏「人斬り場跡」
(昭和53年)



現在の「合葬の碑」



鳥取県伝統工芸士認定の店

松田染物店

HP <http://some-matsuda.com/>

〒683-0062 鳥取県米子市紺屋町47

TEL (0859)22-3358

FAX (0859)32-5712

美保動物霊園

ペット火葬

樹木葬

納骨堂

受付 ☎ 0120-124-619

美保動物霊園 [斎場・ホール] 米子市河崎1299

「福生東地区日野川を美しくする会」の活動表彰

福生東地区自治連合会長 近藤 豊

福生東地区は1級河川日野川の左岸側に位置しています。地理的關係から、国交省日野川河川事務所より、日野川流域の自治会等へ日野川一斉清掃協力の呼びかけがありました。

それに応えて平成16年より、福生東地区社会福祉協議会が主催し、地区自治連合会等が協賛して「福生東地区日野川を美しくする会」として活動が始まり、コロナ禍の中でも天候不良以外は日野川並びに水貫川の清掃を実施してきました。



令和5年で活動が20年を迎えたことから、国土交通省日野川事務所様からの推薦があり、過日、吉村秀次地区社会福祉協議会長が、東京永田町の防災会館において、公益社団法人日本河川協会より表彰されました。

今回の受賞に至る過程は、堀安宗威前会長の時に始まり、

地域住民の皆様、スポーツ少年団の小学校児童、部活を中心とした中学校生徒の皆様および企業の皆様が、多い時には800名を超える参加をされるなど、20年間の活動のたまものです。

今年（令和6年）も7月7日に、午前8時には30度を超える猛暑の中、地域住民の皆様、小・中学校の児童・生徒の皆様、保育園の保育士の皆様、小・中学校の先生の皆様、および企業の皆様、約400名の方に参加いただき、無事終了いたしました。

これからも地域の宝である、日野川そして水貫川の清掃に努めていく所存です。



「米子市法勝寺川水辺の楽校」開校

尚徳地区自治連合会長 深田 剛史

令和6年6月29日、兼久土手桜並木の対岸に「米子市法勝寺川水辺の楽校」が完成し、開校式典が盛大に挙行されました。

本事業は、平成31年3月8日付けで国土交通省水管理・国土保全局長より、「水辺の楽校」プロジェクトに基づく登録を受け、国土交通省中国地方整備局日野川河川事務所が5年の歳月をかけた大工事でした。

式典終了後、尚徳小学校の代表者を中心にテープカットが行われ開校いたしました。

オープニングでは、地元子ども達を中心として活動されている「がいな太鼓尚徳子供連」「ガイナレ鳥取オフィシャルチア」「米子市立尚徳中学校吹奏楽部」の皆さんに素敵な演奏・ダイナミックなダンスを披露していただきました。

イベントでは、尚徳中学校、米子高校の生徒さんにボランティアとしてスタッフに加わって頂き、川のなかではサップ、芝生広場では鮎のつかみ取り、竹で作った水鉄砲、グランドゴルフを同時開催しました。

大人も子どもも歓声を上げ、笑顔あふれる楽しい一時を

過ごしていただきました。

市民の皆さんが芝生の広場に集い、散歩・グランドゴルフなど思い思いに楽しんでいただける憩いの場となるように願っています。

川で遊ぶことがなくなった子どもたちが大人とともに川に入り、生息する魚に興味を示し、法勝寺川、小松谷川の豊かさを感じてくれたら嬉しく思います。

尚徳の地に大きな恵みをもたらすとともに、子どもたちの遊び場として大きな役割を果たしてきた法勝寺川・小松谷川に多くの方が訪れ楽しんでいただけるように、関係機関と連携しながら整備に努めてまいりますので、皆様のご来校をお待ちいたしております。



医療・保健・福祉 ホスピタウンネットワーク



医療法人
社会福祉法人

真誠会

米子ホスピタウン（河崎） 弓浜ホスピタウン（大崎）
米子中央ホスピタウン 外浜ホスピタウン 高齢者生活支援隊
（西福原、富士見町、皆生） （和田町、富益町、夜見町）

米子市河崎580 TEL 0859-24-5666 <http://www.hospitown.or.jp/>

島津組

くらしまず
clasimazu

くらしのまん中に、アイがある。

〒683-0009 鳥取県米子市観音寺新町3丁目4番29
0120-475-008
TEL: 0859-33-1319
FAX: 0859-33-0780

魅力いっぱい! 地域活動

日吉神社神幸神事『よいとまかせ』

淀江地区自治連合会長 福永 喜和

奴(やっこ)さんが拳と片足を上げ、独特な振付とともに、「えんよーいやな、えんよいとまかせ、さ、さ、さ さーよいとまかせ」懐かしい掛け声が、今年も淀江町の淀江地区の町中に響き渡りました。



毎年5月3日に開催されている米子市指定の無形民俗文化財の「日吉神社神幸神事」。詳しい起源は明らかにされていませんが、江戸時代から380年以上続いており、大山あるいは日御碕神社との間に行われた神輿渡御と伝えられています。度々の中断や明治24年の大火災による道具の焼失に遭遇するも、氏子によって再興され現在まで続けられています。

この神事は、淀江地区の各自治会が役割を持ち、定められた順番で山車行列を作り、日吉神社から淀江地区内を3時間

～4時間かけて練り歩きます。この日ばかりは、この行列を見るために沿道に多くの帰省者や見学者が集まり、普段静かな街並みが、とても賑やかになります。

先導する寺社奉行の奴さんの「えんよーいやな、えんよいとまかせ、さ、さ、さ さーよいとまかせ」の掛け声は、「いい世の中だな、さあ、もっといい世の中でありませうに」という意味だと伝えられています。

また、奴さんの持つ大熊毛(おおくまげ)、立傘、台傘等で頭を触れられると、「1年間無病息災でいられる」と言われています。

長年続くこの神事ですが、私が子どものころは、山車を引くのは子ども会が主体で、人数も10人以上で引いていましたし、奴(やっこ)さんは全て成人男性でした。それが、山車を引くにも小学生が少なくなり、大人が引くところも出てくるなど、少子化により担い手が不足してきたため、こども奴(やっこ)や、今年からは女性奴(やっこ)が加わるようになりました。

今後色々な工夫をして、長年続いたこの神事を継続していきたいと思っておりますので、来年の5月3日には日吉神社神幸神事をぜひ見に来てください。



がいな祭 募金へのご協力ありがとうございました。

米子がいな祭の開催にあたりましては、毎年格別なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、「第51回米子がいな祭」は、本年も自治会を通じて変わらぬご支援を賜り、2,107,450円(8月末現在)もの募金をいただきました。厚くお礼申し上げます。



令和六年度
米子市自治連合会
常任委員(各地区自治連合会長)
のみなさん

大宇淀	和川江	高日	春高	巖日	五石	永江	尚徳	成実	夜見	富益	和津	大津	崎津	彦名	福米	福米	福生	福生	河崎	加茂	車尾	住吉	義方	就將	明道	啓成	
山田	森田	福永	奥田	仲原	内藤	俵	戸田	福島	深田	脇坂	松本	田邊	岡田	松本	西尾	大崎	上田	福景	近藤	足藤	加藤	高野	新見	黒田	平井	河原	角田
敏昭	哲也	喜和	登	克弘	英二	俊一	隆雄	雄三	剛史	喜啓	眞	信二	忠雄	隆美	陸夫	薫	康則	順一	豊	通秋	朗	和男	博士	昌稔	道彦	英明	和久

◎会長 ○副会長

編集後記

近年、台風や地震など自然災害が全国各地で多発しております。

1月1日に発生した能登半島地震、高齢化で古い住宅が多い地域では壊滅的な被害となり、また、タンス等家具の転倒による人的な被害が大きかったことも指摘されており、防災の専門家は、地震が発生すると家具はとも危険で、特に寝室にはタンス等家具の転倒防止のために耐震ポールを設置するなど、地震に対する予防的な行動が必要であると強調されています。

さて、今年度の自治連常任委員防災研修会は「住民主体の避難所運営を学ぶ機会」として、避難所運営ゲーム(HUG)を体験しました。

1グループ5～6人で4グループに分かれ、高齢者の方、障がい者の方を始め、不特定多数な方々への対応、また、トイレ、水道、食料の案内など作業の内容は250項目と多岐にわたり、避難所の運営は大変であると痛感しました。しかし、初めての体験で参考になったことがたくさんあり有益な研修会でした。終わりに、今回記事をお寄せいただいた皆様にお礼申し上げます。